

# 関係者評価の結果について

令和7年4月作成  
学校法人北邦学園  
菊水いちい認定こども園

## 1 本園の教育目標

教育目標
◎ 思いやりのある子 ◎ 考え工夫する子 ◎ 明るくたくましい子

『評価』の区分
A：成果を上げている。
B：ある程度成果を上げている。
C：もう少し努力が必要である。
D：改善が必要である。

## 2 令和6年度に重点的に取り組む目標・計画

取り組む目標、計画
① 預かり/2号児保育の活動内容と環境の見直し ② 玩具の見直し ③ 絵本について学び活かし方を見直す

### 3 評価項目の達成及び取組み状況

A:成果を上げている B:ある程度成果を上げている C:もう少し努力が必要である D:改善が必要である

評価項目	取組み状況	関係者評価	
		評価	意見等 ○良い △意見 ●課題 ☆要望
「教育保育の計画性」について  自己評価：B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育保育課程をもとに保育を進めようとしたが、指導計画に反映するのが難しいと考える保育教諭が少なくなかった。しかし、学園の建学の精神や当園の教育目標を理解し、日々の保育や行事の立案を行ったことは評価できる。</li> <li>・同じ学年、クラスの担当保育教諭と共通理解のもと保育に取り組めた者がほとんどであったが、毎日出勤しない職員とはその時間を持つことが難しい場合もあり、その時間の確保、確認の仕方の工夫が必要と考える。</li> </ul>	<p>B</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>●</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標等を職員の中で共通理解し、日々の保育や行事の立案に活かしている点はとてもよいと思います。</li> <li>・毎日出勤しない職員との共通理解については難しい面もあると思いますが、引き継ぎの情報を一定のルールで保管し、すぐに確認することができるような体制等が取れるようになってほしいと思います。</li> <li>・いわゆるお勉強の時間はないですが、子どもたちは日々の遊びの中で先生方の声掛けの工夫のお陰でお友達が困っているから助けてあげたい！という優しい心や、○○ちゃんママやっほー！という可愛いところ、先生方のアドバイスで挑戦しようかな？と追うたくましい子こと工夫のある保育のお陰で素敵な心が育っていると思います。送迎に言った際にクラス、年齢関係なく園児たちがそれぞれ好きな場所で好きな遊びを先生含め楽しそうにしている、その賑やかさと子どもたちのニコニコ笑顔を見て、素敵な園だなと改めて感じました。</li> <li>○学園の理念や教育目標に基づいて年間行事や日々の活動に取り組んでいる先生方の姿を見受けられます。保育教諭一人ひとりと共通理解をすることは、先生一人ひとりの意識により改善される(情報共有を細かく行う、報告連絡を密にする)ことだと思うので、その意識を次年度に活かしてほしい。</li> <li>○すべての先生が共通理解のもと保育に取り組んでいただけるとより良いものになると思います。</li> <li>・引継ぎに時間を取れるように日々のちょっとしたムダを見極める。</li> </ul>

<p>「教育保育の在り方、幼児の対応」 について</p> <p>自己評価：B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の保育の中で一人ひとりの気持ちに寄り添いながら保育を進めることを心がけてきたこと、年齢が低い学年の保育教諭ほど、安全に対する意識をもち環境を整えようとしてきたことは評価できる。</li> <li>自身の経験や見聞きしたことからではなく、保育のプロとして、子どもの個々の育ちや発達の特性に応じた関わりや見守り、援助について理解し、実践しようとする意識が必要である。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたち一人ひとりに寄り添い、関わっていくことは教育の中でも大切にしていかなければならない事と考えています。その心がけをこれからも大切に進めていって欲しいと思います。</li> </ul> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園児一人ひとりにあった保育、関わり方して下さっていて感謝しております。何に関しても無理強いではなく、また気分が乗ったらやってみようか！と子どもの気持ちに寄り添ってくれたり。(たとえ顔のパーツのない未完成かな？と思われる製作物でも親としては宝物です。)特に我が子は偏食で給食が苦手なので須賀、親としては周りのこと同じに出来ない申し訳なさや不安な気持ちがある中、食べることが嫌にならな様にと寄り添ってくださり一緒に悩み対策を考えアイデアをくださった担任お左旋性には感謝の気持ちでいっぱいです。</li> </ul> <p>B</p> <p>△乳児クラスは一人ひとりに寄り添いながら安全面にも配慮されている印象があります。(息子が乳児クラス時代からも個別配慮に感謝する点が多々ありました。)幼児クラス(特にはで見受けられるのですが)では、子どもに対して好ましくないのではと思われる言葉かけや対応の仕方が見受けられる保育教諭の姿があった。</p> <p>A</p> <p>○子どもの気持ちに寄り添ってここにに応じた援助をしていただき感謝しています。</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>素晴らしいです。</li> </ul>
<p>「保育者としての資質と能力」 について</p> <p>自己評価：B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育教諭一人ひとりが、園の一員であることを自覚し、それぞれが強み(ピアノ、作り物等)を生かして活躍している。まだ強みを活かしてきれていない保育教諭もいるので、引き続き継続していく。</li> <li>保育教諭が互いに認め合い、思いやりをもって関わる姿は評価している。厳しい目ではなく、正しい目で互いに高め合う関係を大切にしていきたい。</li> <li>自身は子どもや保護者に対して気持ちに寄り添い接していると考えていたが、その思いが伝わっていないことがあった。真摯に受け止め、安心してお子さんを預けてもらえるよう指導、改善できるようにしていく。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの強いを活かし保育の充実に向けて、これからも頑張りたいと思います。</li> </ul> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厳しい目ではなく正しい目で高め合う関係、素晴らしい事だと思います。5年前に兄が卒園したのですが、その当時にもいらっしゃった先生に再開した時の安心感。先生になる夢を叶えられて良かったです、と子どもたちを愛おしく思ってくれる新卒の先生の涙を私は忘れません☆ これからも長くいてくださる先生が増える事を願っています。</li> </ul> <p>B</p> <p>○先生方一人ひとりの日々の努力を感じる事が多い園風だと思います。重荷にならない程度に自分の強みを活かして活動して欲しいです。それを他の職員が正しい目で評価し、高め合っていくと依関係が気づけるととても良い効果があると思います。</p>

		A	○安心して子供を預けています。先生方の素敵な関係性を引き続き維持していただきたいと思います。
		☆	・なるべく同じ方向を向けるように…。
「保護者への対応」について 自己評価：B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心してお子さんを預けてもらえるよう、笑顔を意識し電話やお迎え時の対応に努めたことは評価できる。</li> <li>・保護者の心配事や不安、不満については受けた職員が対応することはもちろん、管理職へ報告したり相談したりして園全体で共有している。園での出来事全てを、職員一人ひとりが自分事として捉え、考えたり、改善したりしようとする姿勢は今後も続けていく。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの信頼を得るのは日々の子どもの関わりが大切になってきます。一人ひとりに寄り添った台頭とともに何赤ったときに組織的な対応がしっかりとれるよう、これからも頑張っ欲しいと思います。</li> </ul>
		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段あまり接することの無い先生でも、バスの登降園の際に、成長しましたね！今日は○○していましたよ！とお話してくださり、沢山の園児がいる中でふだんから細かく目を配って見守っていただいていると感じます。その証拠に、人見知りの我が子がどの先生でも行き渡ることなくすんなり登園出来ます。参観日では甘えが出て園での本来の様子がなかなか見られないこともあると思いますが、何気ない日常をこっそり見たい！という希望を叶えてくれるいつでも歓迎です！のスタイルがありがたいです。これを可能にしているのも、先生方が日頃から親ともコミュニケーションを取り、顔を覚えてくださっているからだと思います。</li> </ul>
		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から要望があった際には、担任の先生だけではなく、関わる先生方や管理職の先生方にも伝わるよう共有していることが多いので安心感があった。色々な考え方の保護者がいると思うので、保護者一人ひとりの個性も理解しながら関わる力を新任や全体と関わるぶどう組やバスの先生によく指導するとより円滑に良い関係が気づけると思います。</li> </ul>
		A	○先生方の親切・丁寧な対応に感謝しています。
		○	・改善出来ていてぜひ参考にしたいです。

<p>「地域の自然や社会との関わり」 について</p> <p>自己評価：B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援の一環として、地域の近い姉妹園とともに近隣の公園に出向き「あおぞらえほん会」を実施した。大半が在園児にかかわりのある参加者であったが、近隣の小規模保育園も散歩途中で参加するなど、とても良い雰囲気となった。来年度は回数を増やし継続していく。</li> <li>年長児と小学生との交流は、小学校への期待を高めると同時に、新たな生活への不安を和らげる良い経験となっている。</li> <li>周辺の散歩マップ等の作成をすることで、地域に親しみを持ち知るきっかけになると考える。次年度以降で取り組んでいきたい。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あおぞらえほん会」の取組はとても素晴らしいと思います。今後も継続して欲しいです。また、年長児と小学生との交流は、小学生にとってもとても学びの多いものになっているので、今後も工夫して進めていって欲しいと思います。</li> </ul> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの堤防に遊びに出来合変える機会も多く思いっきり走り回れる環境が近くにあるのはいいと思います。いろいろな時代背景があり、簡単に実現するものではない事を承知で書か出ただけと、昔々はあった親子遠足で同無塩などに先生やお友達、パパママと、少し遠くにお出かけするワクワク感、これを経験させてあげたいなと思ってしまいます。</li> </ul> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>また、近隣の小学校ではない学校に通うことになる子どもたちには、実際に通う学校に少しでも触れさせる機会があると入学への不安も和らぐのかな、と思いました。</li> </ul> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○天候や体調に留意した上で「あおぞらえほん会」を実施したり、小学校との交流があったりすることは、子どもたちにとっても良い体験だったと思う。今後も機会を増やして欲しい。</li> </ul> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年長児と小学生との交流は、大変有意義なものだと思います。銭費今後も継続していただきたいと思います。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺マップはとてもいいですね。</li> </ul>
<p>「研修と研究」について</p> <p>自己評価：B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ以降もオンラインで受講可能な研修があることで、研修に参加しやすくなった。</li> <li>・今年度の園内研究は、普段過ごす保育室や子どもたちが日々遊ぶゾーンの環境構成について考える機会となり、より実践的で良かったと思う。</li> <li>・学園内研修への参加は充実している一方で、外部研修への参加は課題がある。年間予定が示された段階で参加計画を立てるなどの工夫が必要である。</li> </ul>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々忙しい中で外部へ研修に出るのは大変だと思いますが、職員の学びは子どもに還元されていくので、これからも参加に向けての工夫をして言って欲しいと思います。</li> </ul> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な意見を交換できるオンライン研修いいと思います！外部研修への栈かも実現出来たらと願っています。</li> </ul> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は姉妹園の先生方と合同で「わくわく絵本会」などがあり、先生アタの研修活動が小屋保護者にも還元されていてとても良かったと思う。</li> </ul> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○忙しい中での研修参加は大変だと思いますが、研修や研究を通して学んだことを今後の日常の保育に活かしていただきたいです。</li> </ul> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を経て研修等参加しやすくなった部分を今まで出来なかったことへ挑戦していただきたい。</li> </ul>

#### 4 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己評価	関係者評価	
	評価	意見等
<p><b>◎預かり/2号児保育の活動内容と環境の見直し 自己評価：B</b></p> <p>*保育室の共有（教育時間と預かり/2号児保育）における課題を明らかにし、預かり/2号児保育ならではの空間作りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用したクラスの清掃の問題があった。担当保育教諭間で話し合い、保育室から遊戯室に移動した後の時間で必ず行うことで、その問題は解決された。</li> <li>・保育室に入る際に、教育時間が終わって降園する子どもたちと、預かり/2号児保育に向かう子どもたちで、廊下が混沌とする状況があった。預かり/2号児保育を行う担当保育教諭が、保育開始時間前に待機し、降園する子の妨げにならない場所で待てるようにしたことで、落ち着いた雰囲気の中で、子どもたちの人数確認ができるようになった。</li> </ul> <p>*長期休み期間のぶどう組を固定し、継続的な活動を楽しめるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊戯室後方のパーテーションで仕切り、後方をぶどう組保育室にしようと考えたが、夏休みは冷房が効かないことから、年少クラスをぶどう組に固定し、遊戯室と行き来する形で、一人ひとりの子どもたちが自分で遊びを選んだり、継続して楽しめるようにしたりした。冬期も後方が外遊びに行く際の出入り場所になることから、同様となっている。</li> </ul> <p>*長期休み期間の園バスを利用した園外保育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みは、いちいの村、屋内の施設で暑さをしのぐことも可能な円山動物園へ、冬休みは青少年科学館へ、園バスを利用した園外保育を実施した。次年度以降も、継続して行っていきたい。</li> </ul>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>・課題が見つかったときは解決策をすぐに考え実行で来ている点が素晴らしいです。</p> <p>・ぶどう組さんを利用したことはありませんが、お迎えに行った際に遊戯室で見かけたぶどう組さんが、それはそれは楽しそうで、担当の先生たちの努力あってこそ！と思いました。子どもたちと思いきり遊ぶ姿が印象的で、ぶどうさんにしたら寂しいかな？と思っていた気持ちなくなる程です。園児に対しての先生の人数は少ないように感じます。 利用していないので細かい事はわかりませんが、子どもたちの体調を第一に考え保育室を作ったり、出かけたり、長期のお休みで利用する子どもたちにも良い環境で安心して預けられると思いました。</p> <p>・個々のクラスの活動とは別に「ぶどう組」として子どもたちが楽しめるように担当の先生方が工夫されているのが良く理解できます。保育室の掃除や整理も大切なことなので、それをどうすればよりよく保育中に回せるのかを相談し改善されているという事も先生方のチーム力を感じられる点でした。 様々なクラスが集まり子ども一人ひとりについての把握も大変かと思いますが、縦割りならではの楽しみを味わえる場としてこれからも安心できる場所であってほしいです。</p> <p>○長期休み機関のぶどう組固定や園バスを利用した園外保育は子どもたちにとっても、ぶどう組としての特別な時間となりよいと思います。</p>

<p><b>◎玩具の見直し 自己評価：B</b></p> <p>*各学年の玩具の状況（種類、個数、状態、）を確認し、子どもの育ちに合っているか、また、望ましい発達を促すものになっているか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0・1・2歳児の保育室では、それぞれの育ちや興味、関心に応じた手作りの玩具を取り入れた。その中では、素材、強度、誤飲の危険について意識し取り入れることができたことは評価したい。今後も裁縫や編み物などが得意な職員の強みを生かして手作り玩具を作成していく。</li> <li>・3・4・5歳児では、ゾーンの一つ「ホッピーハウス」の環境構成について考え、丈夫な既製品の玩具を購入したり、手作りの玩具を用意したりした。その中では個数や種類を用意することで子どもたちが主体的に遊びを展開し楽しむ姿に繋がった。今後も継続していきたい。</li> </ul> <p>*玩具についての書籍を読んだり、研修に参加して学びを深める。</p> <p>*展示会に出向き、様々な玩具を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、担任が展示会に参加できるように考えていたが、時期が合わずその機会を持てなかった。玩具の業者のカタログを見る時間を設けるなどし、子どもたちの興味や関心に合う玩具について考える機会を増やしていきたい</li> </ul>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>☆</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玩具の手作りも含め、発達段階だけでなく安全等にも配慮している点がとてもよいと思います。</li> <li>・手作りの玩具、温かみがあっていいですね！今後もその時期にあった玩具で指先の感覚や口に入れることでわかる感触、誤飲には目を配りながら沢山遊ばせてあげて欲しいです。色々な工夫があってホッピーハウスが人気なのがわかります。</li> <li>○乳児クラスには先生方手作りの温かみのある玩具や、感触や口を刺激されるものが選ばれていて、とても工夫されていると思う。幼児クラスではごっこ遊びでより「なりきり」を楽しめるような家電や衣装も用意され、子どもたちの遊びをより充実させられる工夫があり、保護者がみて楽しそうな場所だと感じられた。担任がクラスカラーに合わせて玩具選びに携わる機会を園側が作ってくださるのは、良い試みだと思います。</li> <li>○子どもが興味、関心をもってじっくりと玩具で遊べる環境に感謝しています。</li> <li>・見る触るで玩具の見直し子どもの興味は何か?を探して行ってほしいです。</li> </ul>
--	--	---

<p><b>◎絵本について学び活かし方を見直す 自己評価：C</b></p> <p>*季節、子どもの興味や関心、保育のねらい（願い）に応じた絵本を選び、保育室に置く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節や教育保育課程の期の移り変わり時期には、「おはなしのもり」にある絵本を入れ替えているが、クラスにより少し差が感じられた。</li> <li>・虫や植物など、子どもの興味や関心の大きい題材の絵本、図鑑が不足していると感じる。担任の要望を毎年の図書購入に取り入れてきたが、より、子どもたちの興味や関心が反映されるよう、来年度以降は計画的に購入していく。</li> </ul> <p>*言葉のリズムや物語や情景を豊かに表現している言葉を保育に活かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0～2歳児クラスでは、毎月1冊子どもの育ちにあった絵本を配本し、平日は園で読み聞かせをし、週末は家庭に持ち帰り過程で読み聞かせを楽しんでいる。また、普段から聴いている絵本の読み聞かせが歌になっているものをかけていると、歌詞やリズムある言葉を口ずさむことを楽しむ姿も見られている。</li> </ul>		<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本は心の教育にもとてもいいと考えています。今後もこの取り組みを継続して欲しいと思います。</li> </ul> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間がある時、子どもたちと「おはなしのもり」に行き絵本と一緒に選び読む事もあると聞き、いい取り組みだなと思いました。読み聞かせの時間は、座る、静かにするなど集中するよう力も育つので、ぜひ今後も続けていっていただきたいです。改善すべき所もあるとの事なので、さらに期待していますよ！</li> </ul> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても素敵な「おはなしのもり」ができたが、送迎時に子どもが集まって本を読んでいるという様子を見ることが少なく、せつかくのワクワクゾーンがうまく活かせていないことは感じていた。もっとあの場所に子どもが行きたくなってほしいと思います。乳児への絵本のプレゼントは個人シールを貼ってぜひそのまま続けて欲しいです。</li> </ul> <p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○絵本による育児支援は素敵な取り組みです。0～2歳児クラスで毎月1冊絵本を配本いただき、毎週末にお家で一緒に読み聞かせを楽しみました。ありがとうございます。gぞ合います。</li> <li>・絵本のディスプレイ等園内が可能な限り拘っていただきたいです。</li> </ul>
---	--	--

## 5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法	関係者評価	
		評価	意見等
園内外のゾーンを活かした活動内容の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホッピーハウスやホッピーやぐらなど、園舎内外には魅力的なゾーンが存在するため、それを活かした活動を楽しめるようにする。</li> <li>・クラスの設定保育で積極的にゾーンを活かした活動を楽しめるように計画していく。</li> </ul>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の反省を的確に行い、それに基づいた次年度に向けての具体的な手立てがはっきりしている点がとてもよいと思います。</li> <li>・ホッピーハウスややぐらは子どもたちが大好きな場所だと思います。エプロンをしてなりきって遊ぶ姿が可愛くて良いアイデアですね！</li> <li>・それぞれが魅力的な場所で、子どもたちが自分のお気に入りのゾーンをみつけられそうでも素敵だと思います。安全面に配慮して、どのゾーンにも保護者が必ず一人は付けるようにしていただけると、より保護者は安心できると思います。</li> <li>・魅力的なゾーンで積極的に活動を楽しめるよう、よろしくお願ひします。</li> <li>・どんどん活動してください。</li> </ul>
導入後の玩具の活かし方を見直す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度導入した玩具を使った遊び方を確認し、壊れたものがあれば補修したり、買い足す、新たに子どもの興味関心に応じた玩具を取り入れるなどし、継続して主体的に遊びを楽しめるようにする</li> <li>・玩具についての書籍を読んだり、研修に参加して学びを深める。</li> <li>・展示会に出向き、様々な玩具を知る。</li> </ul>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の反省を的確に行い、それに基づいた次年度に向けての具体的な手立てがはっきりしている点がとてもよいと思います。</li> <li>・展示会はいろいろなことが発見できるので参加出来たら今後に役立つと思います。</li> <li>・子どもの成長発達に応じた玩具やクラスカラーに合わせた玩具で遊びを充実させていけると良いです。</li> <li>・壊れた玩具の補修も大変だと思いますが、よろしくお願ひします。</li> <li>・どんどん活動してください。</li> </ul>

<p>絵本について学び 活かし方を見直す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節、子どもの興味や関心、保育のねらい（願い）に応じた絵本を選び、保育室に置く。</li> <li>・子どもたちが読んでみたいと感じたり、その際にすぐ手に取り読んだりできるよう、「おはなしの森」の棚の絵本の置き方や展示の仕方を考える。</li> </ul>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の反省を的確に行い、それに基づいた次年度に向けての具体的な手立てがはっきりしている点がとてもよいと思います。</li> <li>・絵本のすばらしさを戴せるにしていることがよく伝わります。期待しています！</li> <li>・「おはなしのもり」がほっとできる、かつワクワクがあるえほんスペースになるように願っています。</li> <li>・今後もよろしくお願いします。</li> <li>・展示の仕方だけでかなり変化すると思います。</li> </ul>
------------------------------	--	--	---

Z  
以上